



179

## 中学生向け

## 年組

(2023年9月20日付・下野新聞16面)

記事は加工しています

# 世界の舞台夢見て

世界的なダンサーを目指すし、宇都宮市内のバレエスクールに通う中高生3人が今秋、ドイツに旅立った。国内外の数々のコンクールで入賞し、「A」を得てのバレエ留学。「B」をしっかりと学んで舞台にも立つてみたい」「バレエ以外の授業でもたくさんのかことを吸収したい」などそれぞれの目標を掲げ意欲に燃えている。

3人はKバレエカンパニーの名譽プリンシパル遅沢佑介さんが代表を務めるバレエスタジオの生徒。遅沢さん自身、ドイツ留学を経て同国バレエ団にプリンシパルとして入団。ドイツでも多くの舞台で主役を務めた経験を持つ。

6歳でバレエを始めた星の杜高1年の桜井理登さん(16)は、Kバレエで遅沢さんの「シンデ

## 宇都宮の中高生3人



遅沢さん(後列中央)を囲みポーズをとる八木さん(同右)と遅沢杏さん(同左)。前列は桜井さん

レラ」を見たことがきっかけだった。9月から来年7月まで、インターナショナルダンスアカデミ「C」だけでなく海

## 今秋から★へバレエ留学

外生活の経験そのものを踊りにつなげたい」と話す。

遅沢さんの長女杏さん(14)と八木映利香さん(14)は、シユツツガ

ルトバレエ団付属のジョン・クランコ・バレエスクールに入学する。2人とも中学3年生で

留学期間は未定。学業と両立させながら、将来的にはそのまま海外バレエ団で活躍することを思い描く。

「音楽に合わせて体を動かすことが楽しい」とバレエの魅力を話す杏さん

は、バレエダンサーの両親の下で3歳から踊っており、回転などのテクニクは得意。一方で苦手なアンディオール(外側に回す体の使い方)を強化してラインの美しさを体得したいと意気込む。「ラインの美しさ」を目指すのは、コンテン

ポラリーに自信を持つ八木さんも同じ。「お客さんの目を引きつけられるような踊り」を目標に掲げる。

同スタジオ出身で一時帰国したハンガリアン・ダンス・ユニバーシティに在学中の齊藤啓さん(18)、マンハイム音楽芸術大生の鈴木琉愛さん(17)は「細かい」

「D」は指導してくれないので、自分で意識して「コンテンポラリーやインプロ(即興)は大変だけれど勉強になる」などとアドバイスする。

遅沢さんは「海外で必要なのはバレエが好きという気持ちとEの強さ。3人にはそれぞれが」

と「F」を送る。(宇賀神いづみ)

## 設問

【1】A～Fの空欄に当てはまる外来語を、ア～カから選びましょう。なお、A～Fのそれぞれの空欄に当てはまる外来語の意味は次の通りです。

- A 奨学金、B 方法、C 稽古・授業、D 技術、E 精神・心、F 応援・声援  
ア テクニク  
イ エール  
ウ メンタル  
エ スカラシップ  
オ メソッド

## カ レッスン

【2】★には、留学先を示す漢字一字が入ります。当てはまる漢字一字を書きなさい。

【3】記事の内容に合う文を一つ選びましょう。

- ア 桜井さんは6歳からバレエを始めたので、杏さんよりも3年バレエ歴が長い。  
イ バレエ留学では、バレエに直接関係がある授業しかない。  
ウ 桜井さんの留学期間は、まだ決まっていない。  
エ 遅沢佑介さんはドイツ留学の経験がある。